

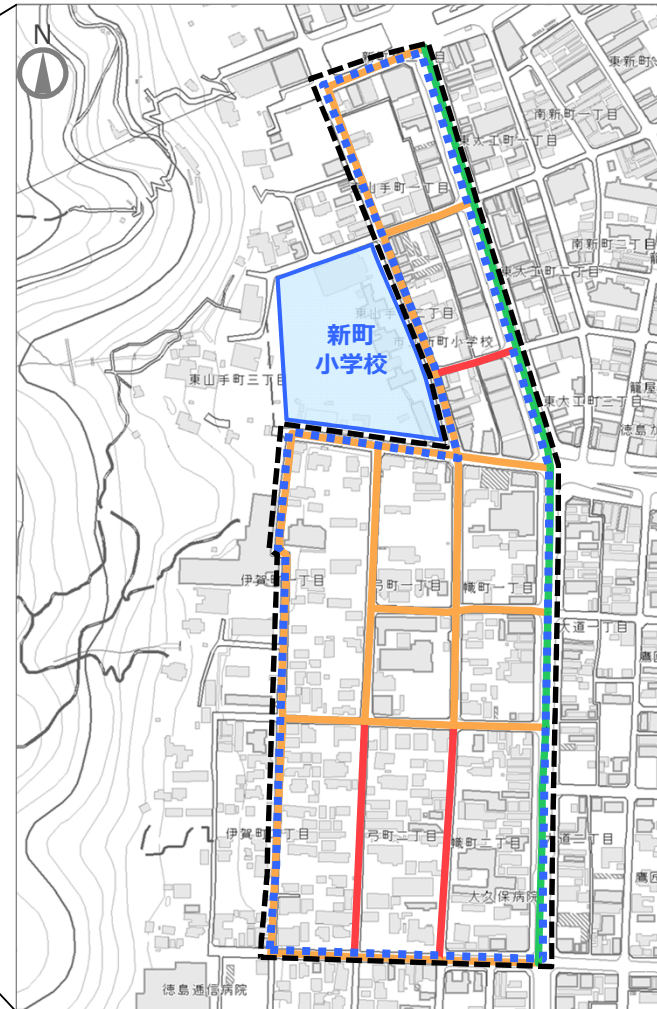
1. 対策エリアの概要 (位置、道路状況)

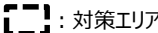
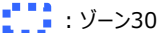

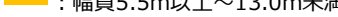

- ・対策エリアは徳島市幟町に位置し、エリア内に新町小学校が立地。
- ・同エリアは平成28年にゾーン30に指定。

▼位置図



▼対策エリア内の道路状況



凡例	
 : 対策エリア	 : ゾーン30
<道路幅員>	
 : 幅員13.0m以上	
 : 幅員5.5m以上~13.0m未満	
 : 幅員5.5m未満	

2. 対策前の事故発生状況や交通状況

・エリア内の自動車の速度や急ブレーキの発生状況を踏まえ、危険箇所（4箇所）を抽出。

▼対策エリア内の事故発生状況・交通状況（急ブレーキ発生状況、走行速度状況）

危険箇所③

○小学校に向かう道路で速度30km/h以上で走行する自動車の割合が高い。

写真③



危険箇所①

○交差点付近で速度30km/h以上で走行する自動車の割合が高い

写真①



危険箇所②

○小学校周辺で急ブレーキが発生

写真②



危険箇所④

○ゾーン30入口で速度30km/hで走行する自動車の割合が高い

※速度を1秒で10km/h落とした時の強度がおおよそ「-0.3G」（下記に減速の例を記載）

初速 【km/h】	ブレーキ時間 【s】	ブレーキ後の速度 【km/h】	G換算 【G】
50	1	40	-0.28
50	1	35	-0.42
50	1	30	-0.57
50	1	25	-0.71
50	1	20	-0.85
50	1	15	-0.99

事故 凡例

- : 自転車×歩行者
- : 自転車×自転車
- : 自動車×歩行者
- : 自動車×自転車
- : 自動車×自動車
- : その他

急ブレーキ※ 凡例

- × : -0.3~-0.4G
- × : -0.4~-0.5G
- × : -0.5~-0.6G
- × : -0.6~-0.7G
- × : -0.7~-0.8G
- × : -0.8G~

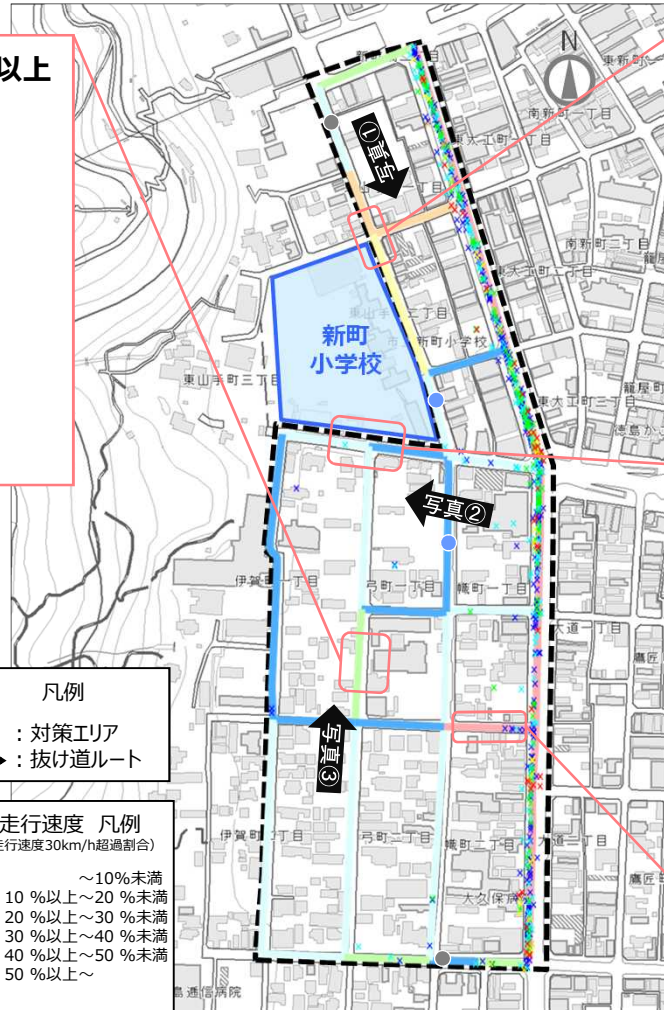
凡例

- ⬡ : 対策エリア
- ↔ : 抜け道ルート

走行速度 凡例

(走行速度30km/h超過割合)

- : ~10%未満
- : 10%以上~20%未満
- : 20%以上~30%未満
- : 30%以上~40%未満
- : 40%以上~50%未満
- : 50%以上~

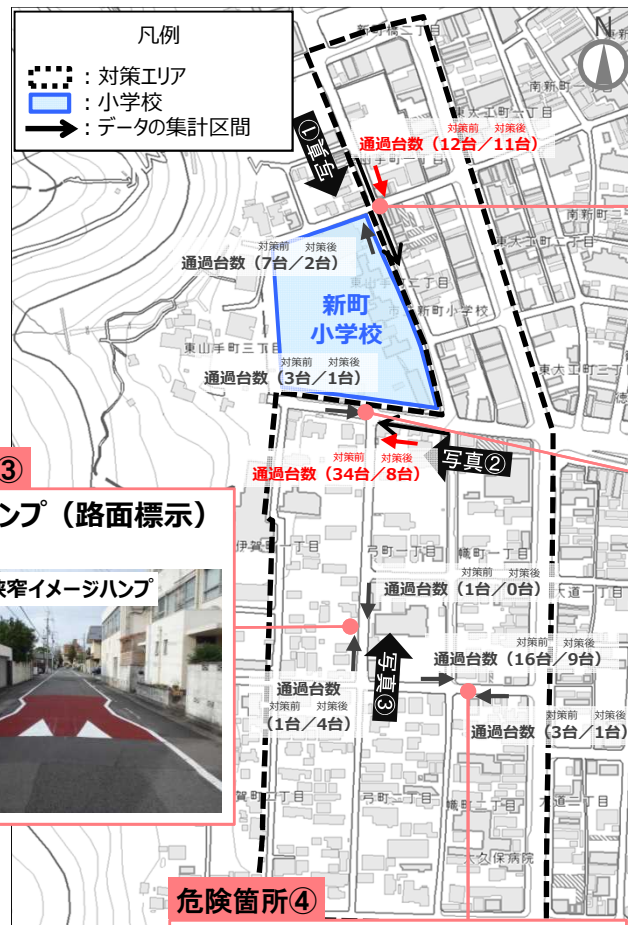


※使用データ：ETC2.0プローブ挙動履歴データ（H27.4~H28.3）
ITARDA生活道路事故データ（H26）

3. 対策後の交通状況

- ・危険箇所においてイメージハンプや通学路の路面標示の対策を実施。
- ・箇所①では南行きについて速度30km/h以下の割合が大幅に減少し、流入速度も低下。
- ・ドライバーが交差点の手前からイメージハンプを確認することで減速したと考えられる。

▼対策エリアでの対策内容 (H29.9.14に対策実施)



危険箇所③

- 狭窄ハンプ (路面標示) の設置



危険箇所④

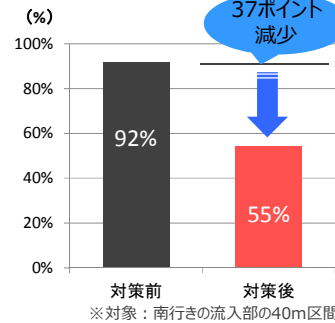
- 通学路の路面標示 (小) を設置

危険箇所①

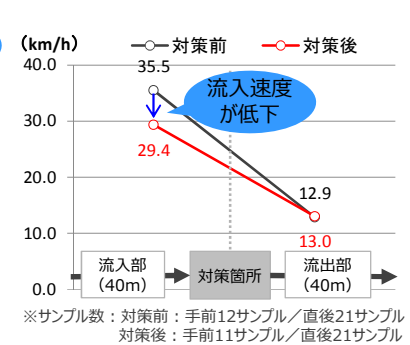
- 交差点流入部にイメージハンプの路面標示の設置。



<南行き> 対策前後の速度30km/h以下の割合



<南行き> 対策前後の平均速度の変化

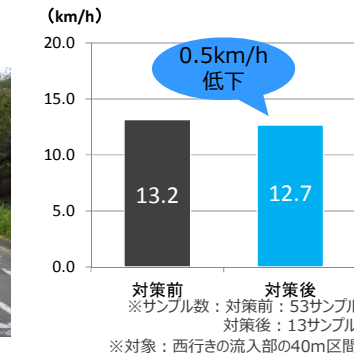


危険箇所②

- 小学校前に通学路の路面標示 (大) を設置



<西行き> 対策前後の平均速度の変化>



※使用データ: 対策前: ETC2.0プローブデータ (H29.6.28~9.13 平日)、対策後: ETC2.0プローブデータ (H29.9.15~11.2)